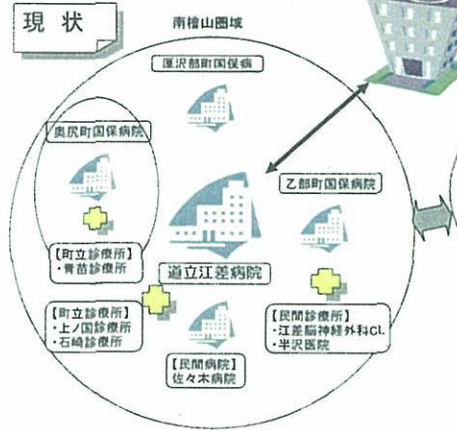
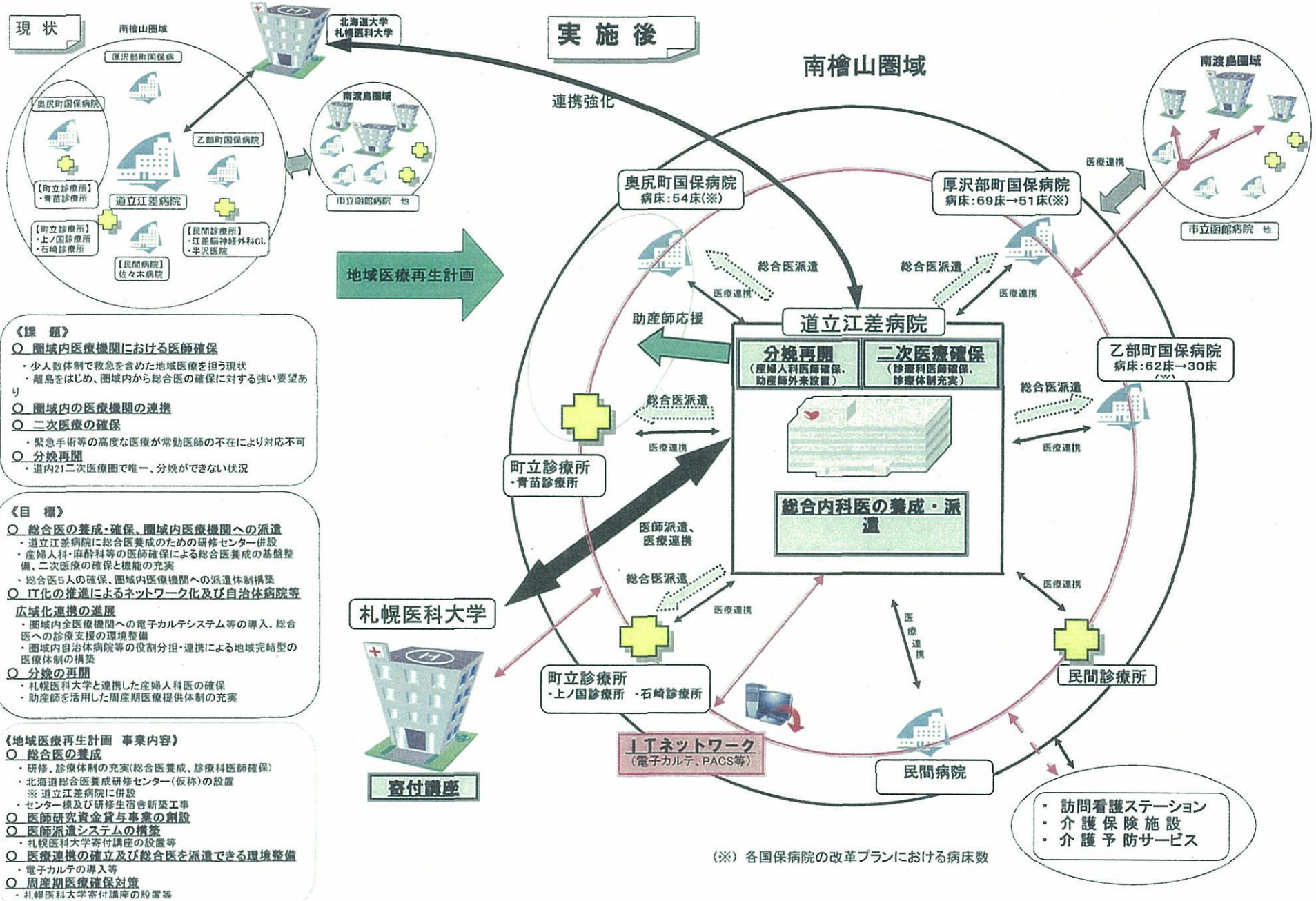


南檜山地域医療再生計画(イメージ)



- 〈課題〉**
- 圏域内医療機関における医師確保
 - ・少人数体制で救急を含めた地域医療を担う現状
 - ・離島をはじめ、圏域内から総合医の確保に対する強い要望あり
 - 圏域内の医療機関の連携
 - 二次医療の確保
 - ・緊急手術等の高度な医療が常勤医師の不在により対応不可
 - 分娩再開
 - ・道内21二次医療圏で唯一、分娩ができない状況

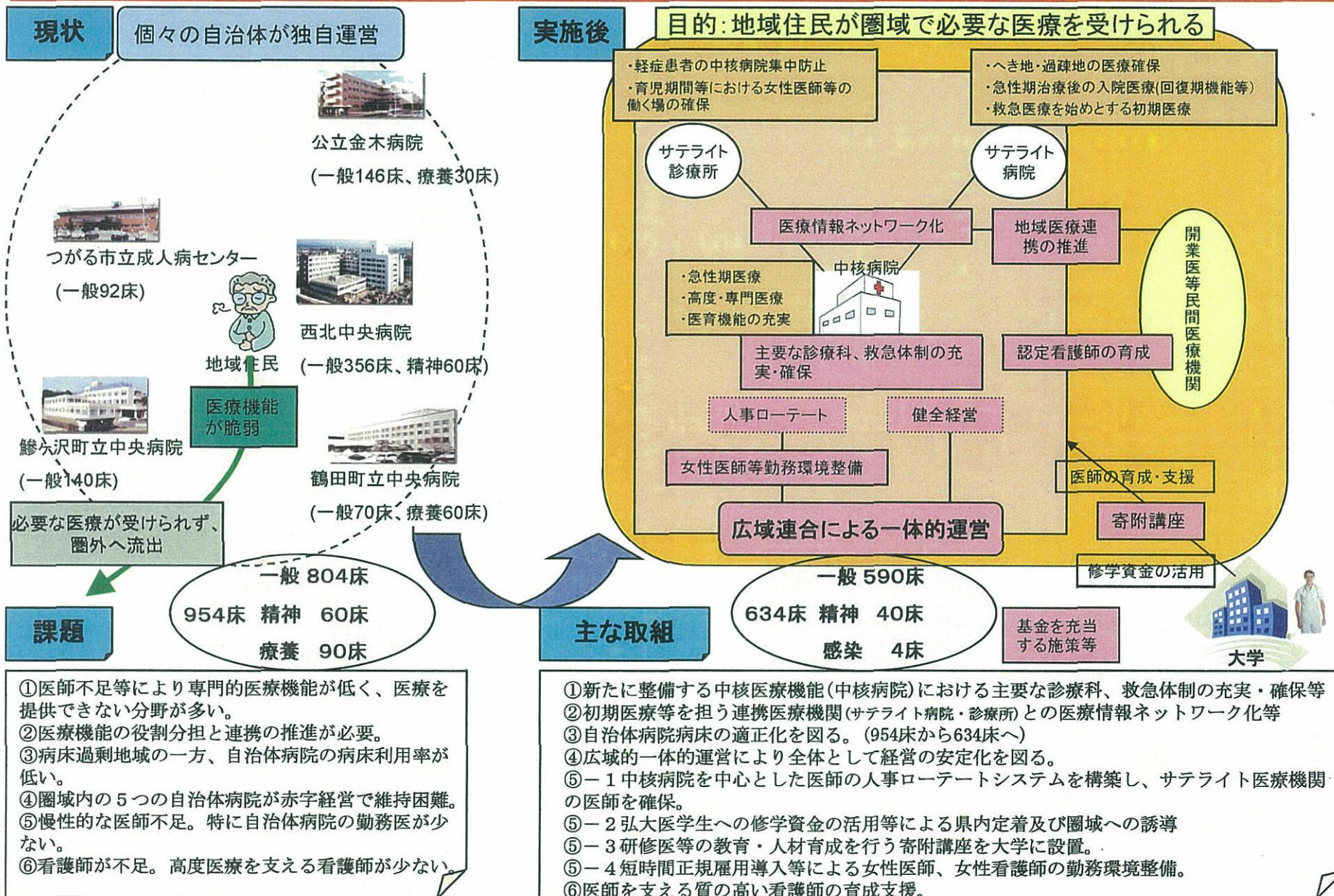
- 〈目標〉**
- 総合医の養成・確保、圏域内医療機関への派遣
 - ・道立江差病院に総合医養成のための研修センター併設
 - ・産婦人科・麻酔科等の医師確保による総合医養成の基盤整備、二次医療の確保と機能の充実
 - ・総合医5人の確保、圏域内医療機関への派遣体制構築
 - IT化の推進によるネットワーク化及び自治体病院等広域化連携の進展
 - ・圏域内全医療機関への電子カルテシステム等の導入、総合医への診療支援の環境整備
 - ・圏域内自治体病院等の役割分担・連携による地域完結型の医療体制の構築
 - 分娩の再開
 - ・札幌医科大学と連携した産婦人科医の確保
 - ・助産師を活用した周産期医療提供体制の充実

- 〈地域医療再生計画 事業内容〉**
- 総合医の養成
 - ・研修、診療体制の充実(総合医養成、診療科医師確保)
 - ・北海道総合医養成研修センター(仮称)の設置
 - ※ 道立江差病院に併設
 - ・センター棟及び研修生宿舎新築工事
 - 医師研究資金貸与事業の創設
 - 医師派遣システムの構築
 - ・札幌医科大学寄付講座の設置等
 - 医療連携の確立及び総合医を派遣できる環境整備
 - ・電子カルテの導入等
 - 周産期医療確保対策
 - ・札幌医科大学寄付講座の設置等

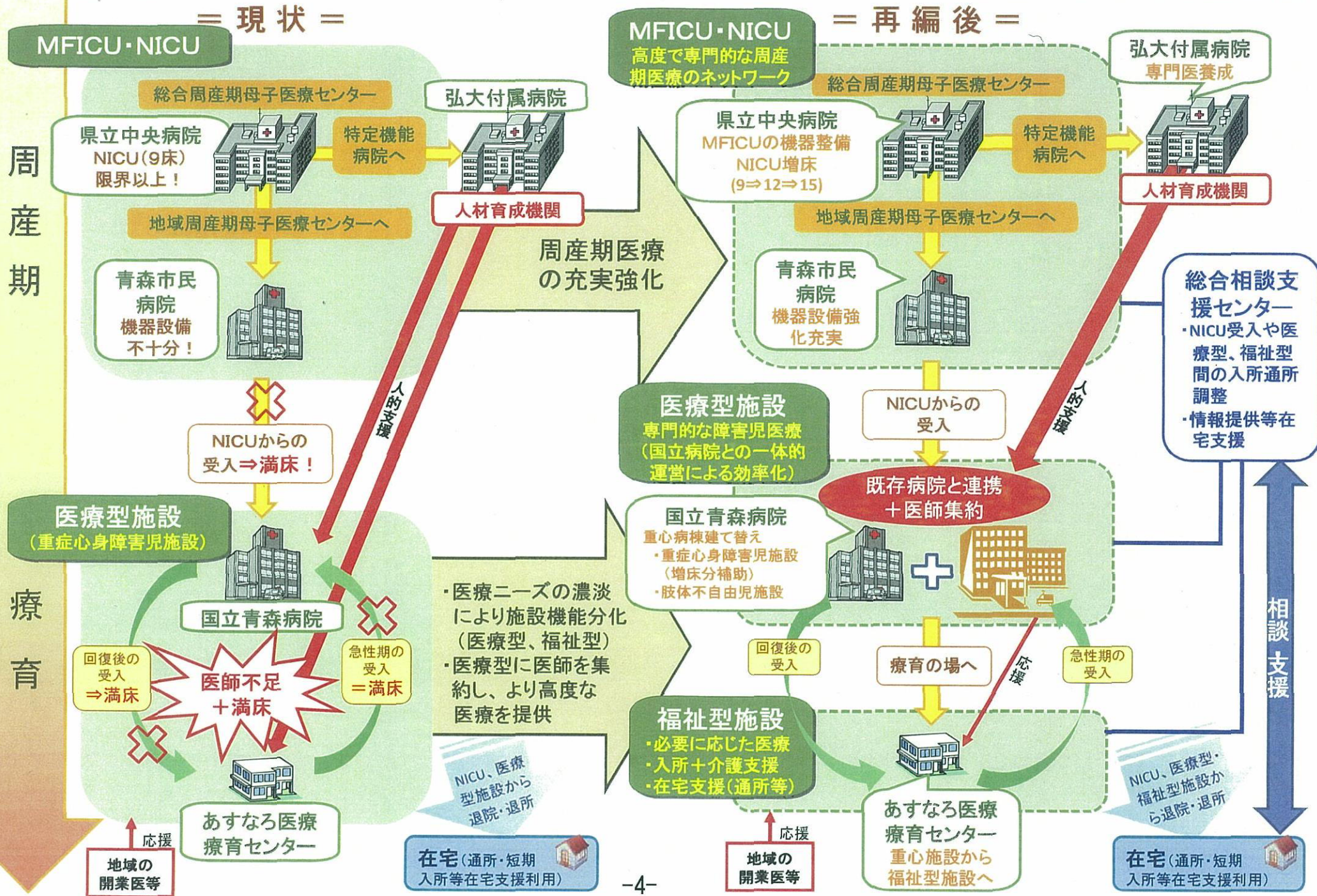
(※) 各国保病院の改革プランにおける病床数

青森県地域医療再生計画 (西北五地域保健医療圏) ～地域で心豊かに安心して暮らせる社会づくりのために～

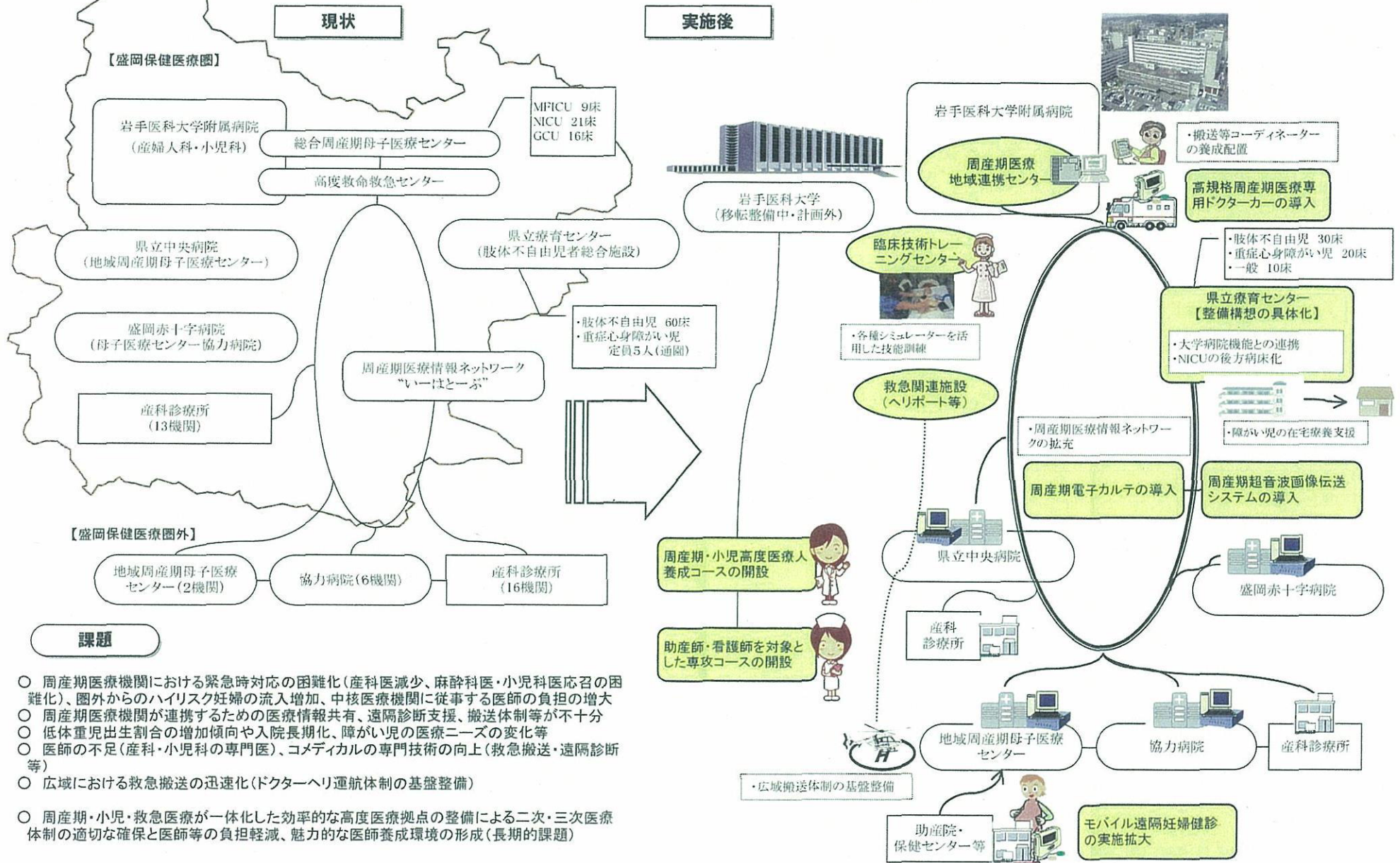
(自治体病院の医療機能の再編・ネットワーク化を軸とした持続可能な医療提供体制の構築)



青森県地域医療再生計画（青森地域保健医療圏：周産期医療から療育まで）

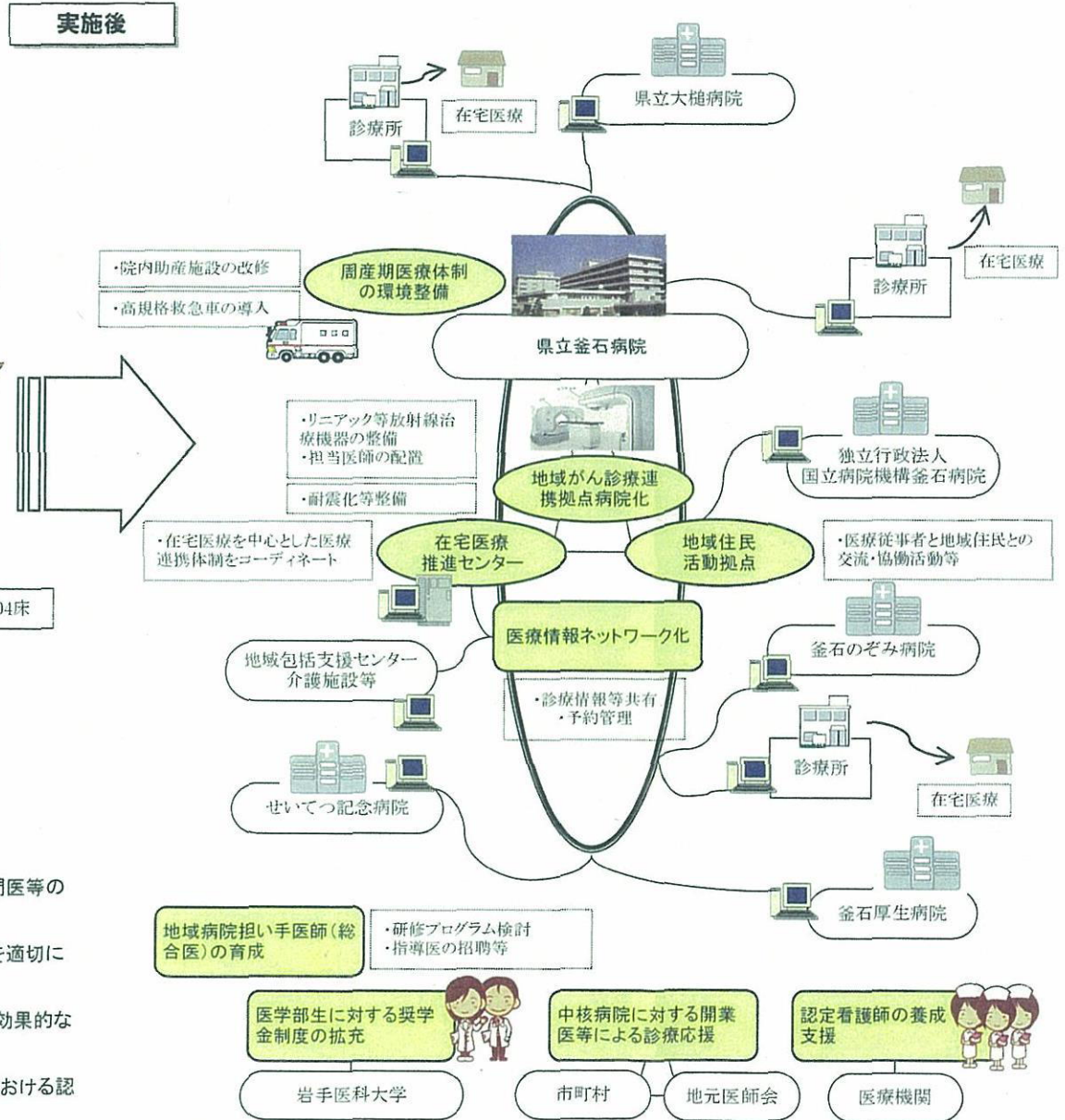


岩手県地域医療再生計画【盛岡保健医療圏】 （周産期医療・小児医療における連携強化と広域救命救急の迅速化に重点化）



岩手県地域医療再生計画【釜石保健医療圏】

(地域がん診療連携拠点病院の整備、在宅医療の推進等に重点化)



- 課題**
- 全県で唯一地域がん診療連携拠点病院が未整備(放射線治療機器の導入と専門医等の計画的配置が必要)
 - 産科医が不在(国立大船渡病院と連携した院内助産システム、妊婦等搬送体制を適切に維持していくことが必要)
 - 在宅医療の拡充等、医療提供施設・介護施設等が一体となった地域医療連携の効果的な推進
 - 医師の不足(地域病院等において総合的な診療ができる医師)、特定看護分野における認定看護師の充足